

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院放射線科に、原発性アルドステロン症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学放射線医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「副腎静脈サンプリングにおける下大静脈採血の有用性」に関する単施設による観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学放射線医学講座 学内助教 福田耕大

3. 研究の目的

副腎静脈サンプリングは、アルドステロンの過剰分泌の原因を特定し、アルドステロン過剰産生が片側性であるのか両側性であるのかを確定診断する手法です。副腎静脈サンプリングの成功率は決して高くはなく、手技の難しさの原因は右副腎静脈の血管径は非常に細く、カテーテルの挿入が困難なことにあります。

本研究の目的は右副腎静脈にカテーテルを挿入せずとも最終診断が可能となる方法を模索するため、下大静脈を採血することで、本来の手技の代用となるかどうかの実現可能性を調べるためです。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

原発性アルドステロン症の患者さんで、2021年9月1日～2022年2月14日に副腎静脈サンプリングの検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、以下の項目になります。

抽出データ項目: 副腎静脈サンプリングで採血したアルドステロン値およびコルチゾール値、年齢、性別、術施行日、採血、画像

(3) 方法

副腎静脈サンプリングで採血したアルドステロン値およびコルチゾール値を電子カルテより抽出し、右副腎静脈と中枢側下大静脈の相関関係を解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。また、他の機関への情報の提供は致しません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究に利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学放射線医学講座 担当医師 福田耕大

TEL : 073-441-0605 FAX : 073-441-0605

E-mail : xbeamson@wakayama-med.ac.jp